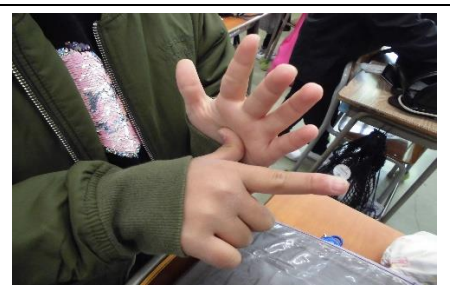


## 4年2組「ニュー・コミュニケーション」

「みんなの顔を見て、おしゃべりしたいな。」「自分たちだけじゃなく、全校のみんなにも感染してほしくない。」そんなつぶやきから、手話やフェイスシールドづくり、ポスターづくりの取組が始まりました。学級目標でもある“**今、できることをやろう！一人ひとりが魅力的なクラス**”の今できることををみんなで考えて1年間の取組を決めました。

### 手話

手話の本を借りて、普段友達同士で使いそうな会話を覚え、**朝の会や帰りの会**にみんなに教えてくれました。「今月の歌」で「にじ」を歌うことが分かると、手話で歌おうということになりました。**時間を見つけては、1フレーズずつ練習**をし、手話のおかげで声を出さずに歌が歌えるようになりました。また、「大きな古時計」も3番までしっかり手話で歌えるようになり、ぜひどこかで披露したいと動画を撮りました。手話チームは、継続的によく練習をし、**クラス全体を巻き込んでの活動**を進めていました。



### フェイスシールド

「顔を見ながらおしゃべりがしたい。」という思いから、フェイスシールドを作り始めました。校長先生から「**マスクを外さなければ**フェイスシールドを教室で使ってもいいですよ。」「**命にかかわることだから、遊び半分でやってはいけない。**」とお話ししていただき、みんな真剣に取り組んでいました。各家庭や学校からの廃材を使い、学級の友達全員の分を作成しました。個人持ちになったフェイスシールドは、マスクを外さない状態で使っています。「マスクを外して顔を見ながら話をしたい。」という願いはかなわなかったものの、**みんなのために手作りし、完成できた喜び**はひとしおだったと思います。



### ポスター

「自分たちも気をつけるけど、藤の木小学校のみんなにもコロナ感染症にかかってほしくないから、ポスターを作ろう」と活動が始まりました。正しい情報を発信するため、考えた言葉を保健室の先生に確認しに行きました。また、ポスターを貼る場所に近い**学年に合わせた言葉**に変えたり、水回りに貼るものには**ラミネート**をかけたりと、**見る側に立って工夫**することができました。作ったポスターに責任をもつために、だれがどこにどんなポスターを貼ったか、**一覧表を作成し、自分たちで管理**しました。年度末には**52枚**のポスターを、すべて責任をもって撤去する予定です。

